

5月30日に続き、7月14日木曜日に調査。干潮が11:24の-2cmで、10時前頃から浜に降りた。梅雨明けのはずが連日降雨が続き、合間を縫っての調査で、この日も昼過ぎからけっこうな雨となった。

調査は干潟の縦横20cmの区画のなかをシャベルで掘り返して貝類を探すもの。岸近くから始めた。40mほど行った最初の場所で、約4cmのハマグリに遭遇。他の貝はいなかった。幸先良いと思



葛西海浜公園西浜 干潮時 10時頃
ここから降りて調査しながら沖の方に移動



調査は約20cm角をシャベルで掘って貝などを探した

回目くらいで4.5cm程度のハマグリ。その後沖近くで潮干狩りをしたが、ハマグリが4個で、小さなシオフキ、アサリ稚貝も少し見られた。ハマグリは4.6cm×2、4.4cm、4.1cm、4cm、3.5cmと大きさがほぼ一緒であった。

5月30日の調査と合わせて考えると、マテガイが少し増えているようである。本来多くいるはずのバカガイ、シオフキ、アサリは1cm内外の小さいものがほんの少数。ハマグリが4cm内外と大きさが揃っていて、数年前にけっこうな数が着底後定着できたが、その後は全く定着できていない状況になっていると思われる。新たな着底・定着がないので、潮干狩りでそのうちいなくなると思われる。

われたが全くの幸運に過ぎなかった。

区画の調査を沖に向かって進めたが、何もいないところが多かった。3回目ではイトミミズのような生物が1匹。5回目では2cm程度のバカ貝、7回目では珍しく1.5cm内外と0.5cm程度のアサリ稚貝がいた。その後12回目で3cm程度のシオフキ。沖近くではマテガイがいくつも飛び出していた。普通は穴に塩を入れて飛び出してくるのを取るのがあるが、飛び出しているのを2個持って帰った。13



ハマグリと飛び出していたマテガイ、希少なアサリ稚貝